

第

統監更迭記念

統監更迭す、曾禰子去つて寺
内子来る、全輩是れを慶すべ
か否か。

現時に於ける韓國施政改善の事業は端
根たるを以て之が歸屬を矯正するの
要を認め明治四十年七月臨時帝室有
を明治三十七年二月締結の日韓議定書
に發したるものにして韓國政府は該國
國有財産調查局を置き經理院收租官

創め故伊藤公の統監として半島に臨むや内に大理想を藏して韓人の徳化に勉む、惜哉公の手腕や公の大理想に伴はず偉人三ヶ年の勞苦も徒らに強弩の末魯縞を穿たずして了る故伊藤公の後を享けたる曾嗣前統監は如何、彼れや理想なく、抱負なく、而かも淺薄なる産業政策を標榜して振はず其短き在任間は夢に始まつて夢に了る。

夢の後を享けて夢に始まらざるものを我寺内統監とす、子や軍人にして政治家なり、政治家にして軍人なり、今後の半島を如何に處理せんとするか。

之を聞く寺内子は政治家として大勢を解し、軍人として斷を有す、此人にして統監たる

新統監寺內子爵



る以上余輩亦何をか日はん、
只稽ふべきは時機に非ず、手
段に非ず、實に半島民衆の幸
福なり、今や千五萬衆の休
戚は懸つて寺内統監の双肩
あり、茲に於てか子の責任や
重且大なりと云はずんばあら
ず。

余輩統監政治の下に在ること
五年、而かも今日の如く半島
の前途に光明を認めたること
あらず、心事の一端を叙して
更迭紀念の辭と爲す。

かしむるに當時に韓國保護政治の基礎を確立せしめたり而して四十年七月に韓國約新に成り韓國政府は施政改革に關して統監の指導を受け從來の監督の顧問制度を廢し日本人を韓國官吏に任用して直接施政改善の所に當らしむるの制成立するに及び帝國政府の保護權執行機能漸く消滅するに至り而して四十二年七月司法及監獄事務委任に關する覺書の閣印成るや從來の保護政治は再轉して委任政治進一步を進めたるものなり茲に統監府設立當時より現今に至る施政改善の便給を記述すべし

を正體ならしめ其の他帝室享祀を廢し内廷の規律を正する等韓國皇室たり近時稀に見るの尊嚴を保持せしめたり因に韓國軍隊は四十年八月親衛隊を除くの外全部之を解散し四十二年軍部を廢して宮中に親衛府を設置すべし

一、中央及地方行政　韓國政府の明治三十九年九月地方制度の改革を爲して行政區畫を釐正し觀察使の官を低下し日本人官吏若くは地方行政監督を掌らしめ理事廳若くは同文書廳として地方政務の改善を補助監視せしむるの制を設け同時に裁制制度の改正

故春畝作
治亂誰言有兩途。
脩文講武是良謨。
胸中所畫無他策。
欲使韓山草木蘇。

統制黨の注意に依り明治三十九年七月先づ顧問警衛寮として皇宮警衛の任に當らしめ、爾後禁令を公布し宮門出入の監督を嚴にすると同時に皇帝に私講して政治に容喙せむとする氣概、鮮紅の出入を無造りして宮中の政氣を肅清するに共に皇帝の權に各般行政に干渉するに次官以下權要の地位に日本人を任用

以上にて行政組織の統一と各機關の聯絡を全ふし、地方に於ては地方官に制し、重なる改正を加へ、警察官を以て、稅務官を兼るの制を廢し、國稅徵收及地方財務に對する地方官の干渉を絶ち、後控官に對し、以下裁判所の設置に由りて司法に關する事項は全然行政官、日本人と之に各關する書記官を置き、日本人を分任し、尋て四十二年四月、地方官會議を開設し、六月、觀察使の大更迭を行ひ、地方

廳の配置を擴張し、四十一年七月、各廳に警務官を置き、警視廳の警務區域を縮小し、同時に警察官の選擇を一層嚴密にし、起て四十二年七月、司法事務及監獄事務委任に關する、日韓新協約成るや、裁判所の増設と共に二十箇所の警察官の増設し、兩者の連絡を全ふし、同時に韓國の警務處又は警部たる日本人を以て統監府司法警察官を兼ねしむること

二

副統監山縣君



創設し日本人を以て其の部長に充て、四十二年に入り新に日本人主事を各府都に配置し爾來漸次其の數を増加し以て府都行政の改善を圖らし其の他民籍の關及、地方財産の整理、地方舊法の實施、刊行物の取締、道路の改築、病院の建築、癩症の普及、水道の敷設、慈惠醫院の設置等々、地方行政の改善の爲め警察制度に在りては統監府設置の當初韓國に於ける警察制度に顧問警察、理事廳警察の二系統に分れて實際の執務上尙適當の連絡を缺くもの

司法行政の沿革、其の因由頗る深きものに漢城裁判所及平壤院の二院に當り設置の當時獨立裁判所と目するもの、に漢城裁判所所長兼裁判廳長に於て其の他地方裁判廳長に於て之を兼ね、裁判廳の名義を有せざる地方都守亦舊慣に於て或範圍の裁判を爲し宮內府、警廳及地方在營の軍隊等の如き裁判廳にして之を敢てするの狀況にして一般的事から根本的改革を遂行するを企及するの事情ありを以て明治三十九年九月裁判事務改善の一歩として法

舊統監曾福子傳



ありしを以て四十年二月二十三日、十一期及警察官等、
職務を補助するの制を試みて同年三月十三日、
一月日警察官の令を一實施し從來頗る煩
問警察を廢して純然たる韓國警察機關
となし理畢處所屬警察官吏を韓國政府
に任用して之に令交せしが在韓帝國民
に對する警察事務は十月韓印一般條
約に據り應日本へ警察官として當該
國官憲に據り監督下に之を執行せしむ
ること同年十二月各部官制改正し其
に警務局監視廳の官制を改正し警察機
關なるは同月日韓新協約成るや兩國

司法行政の區別せらるへからざる一機關としめ尋て臨時財産整理局と轉設して國有移移の不審虞及債務を整理並に債務の整理に任ぜしめ、司法行政に併設して國有移移の整理並に茶葉關稅の調査に附しめたり。

第三十三條所（後部併合其の他の爲百十三箇所に減ず）を各地に設置することとし、四十一年三月以降數次に大審院を檢事總長以下判檢事、書記等に二百二十餘名の日本人を聘用し、同年八月大審院

控訴院及地方裁判所全部並裁判料十し増加し讓出入通計明治三十九年に於て千五百餘萬圓に達せざるゝもの明治四十二年に於て五千二百餘萬圓の劇増を見たり而して廣入の増加は固より其の一部を募債及借入金の輸入に仰ぎたりと雖も租税其の他の經常收入も亦年々著しき増加を爲せし稅收の改善に就ては明治三十九年始めて徵稅機關を特設し同時に租稅徵收規程を發布し於徵收の順序方法を公示し之に準據せしめて徵稅することを一に一般に周知せしめ徵稅上官民意思の疏通を圖る爲め地方委員會長協議會を設け徵稅規程

堂に於ては、數次に監獄署九箇所、及び伴の浦税を創設し、四十年より四十一
 移、分監九箇所を開張せり、而して是年に入り、從容宮内府に於て管掌せし紅
 等司法事務及獄務事務は明治四十二年十一月一日獄事務委任に關する敕諭の
 實施と共に之を法部より統監府司法廳に引繼ぎ其の内容を整理の域に進み
 たり、法典調査の事業は明治四十二年一月に著手し、既に刑事訴訟法の起草
 了へ民法商法編纂材料も其の蒐集を了し刑法の立案も亦大に其歩を進たり

一、財政整理
 韓國財政の紊亂は、煙草稅法の制定して間接稅賦課の基礎

として宮府財政の混淆弊制の亂麻、歲出の濫發及歲入の不整頓等にも原因せるものにして韓國財政の整理は明治三十七年十一月廿五日以來歲計の整理、金庫の設立、貨幣の整理、金融機關の設立、徵稅制度の改善、財源の調査、港灣、水產の設備等の改善、財政の整理に盡瘁し各要地に顧問監事支部分署及分廳を置き統監府財政監督廳と相表裏して韓國財政の指導監督に任じし諸般の施設漸次其の緒に就くに至りしは明治四十年一月韓新設政府實施の結果韓國政府は財政顧問部を廢し度支部全般に亘る宮制を聞き水產稅制を廢して漁業稅法を新定し以て韓國國稅制刷新改善着手以前に造りたる韓國政府施設改善着手し一國の債を募集したることなかりしは韓國の財政整理をして一道の希望を有せしめた所以なりしは明治三十八年以來施設の改善に伴ひ資金を要するところ益々多き貨幣整理金融機關擴張及各種起業の爲漸次國債の募集及借入金を爲し其の四十二年內明治三十四四千四百萬圓に上りしを内明治三十九年暮入の第一起資金五百萬圓に還路整頓、學事費、

改正を嚴し新に臨時財源調達の官廳を設け會計検査局及印刷局を獨立の官廳に之を從從機關稅務局を獨立專掌せしめ稅務監督を廢して度支部大臣の管理に屬する關稅局を新設し管稅官々制を廢して地方財務機關と地方政務機關との分立を全し從從機關の系統に屬せし財務指導監督の機關を廢して新に財務監督官制財務監督官を實施し從從互に其の系統を異にせし財務監督は執行力兩機關を併合して廢絶貫通

助及病院建設等の諸費に充用し四十一年暮入の第二起業費金一千餘圓は土庫調查、金融検査設備、天日製鹽官營營林廠支出、印刷局周報及釜山水道出資等の諸費に充用せり貨幣整理に關し舊白銅貨は明治三十八年其の回收を開始し四十二年十一月三十一日限り其の使用を禁止し四十二年中公納に限り之を通用し得ること同年末迄に九百四十餘萬圓の巨額を回收し業績は三十

(以下二面へ續く)

統監更迭記念號

祝統監交迭

京城明治町一丁目
石田精肉店
電話一〇四二番

御料理
京城壽町三丁目
酒道樂
電話一二七六番

時計
樂器
京城本町四丁目
織居商店
電話二六二番

寫眞機
京城本町二丁目
織居商店自轉車部
電話四八〇番

自轉車
平壤南門通
織居支店
電話二三番

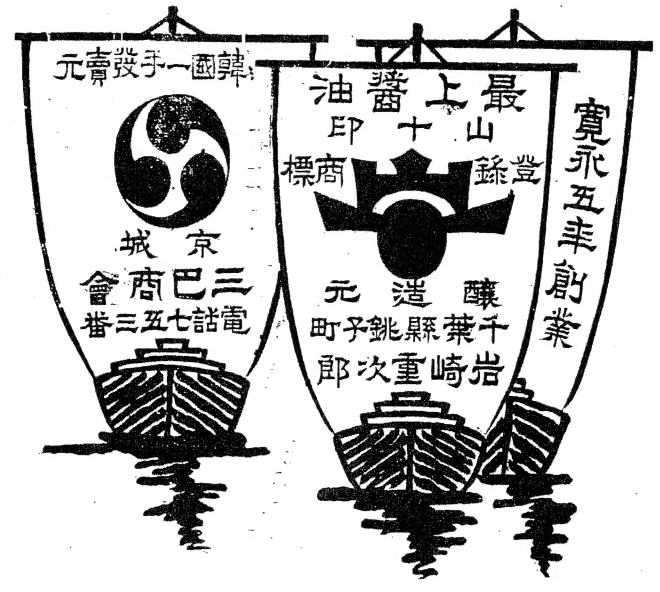
舍田御料理
京城大和町一丁目浪花湯前
交遊軒
電話架設中

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(新モリ洋町電話一五八三)

祝統監交迭

唐津石炭 直輸入商
並に平壤無煙炭販賣
京城大和町一丁目九十五番戸
(南大門高等女學校裏邊)

近藤商店
電話八三五番



祝紀念號發刊

京城本町一丁目(理事廳前)
増本好三郎事務所
電話千五十番

京城大和町壹丁目三百三十一番戸

愛國生命保險株式會社
京城出張所
電話四〇二一
振替貯金口座東京一七六四〇番

謹みて紀念號の御發刊を祝す

日韓瓦斯電氣株式會社

資本金五十萬圓
積立金九萬七千圓

株式會社 大韓天一銀行
電話五五八番

支配人 遠山 熙
電話八一六番

東洋生命保險株式會社

本社 東京市京橋區南鞘町六番地
社長 尾高次郎
支社 京城鐘路通一丁目(電話六五三一〇番)

Figure 1 is a schematic representation of the experimental design. It shows a sequence of events: 'Stimulus presentation' (a box with a question mark), 'Response' (a box with a hand icon), 'Feedback' (a box with a checkmark), and 'Next trial' (a box with a question mark). The sequence is enclosed in a larger box labeled 'Trial'.

一、學事施設の概況

[illegible]

近藤佐五郎

電話三五一番

東京流菓子
製造舖
大和軒

從來本町一丁目民團役所前に貸家業所を設置し候處今般都合により倉町住宅に移し一層便利親切を旨とし従前通り貸家營業に關する一切事務を取扱ひ申候間此段廣告候也

氷倉町和樂園

三好和三郎別荘

電話一二九番

正
官衙、陸軍印刷室

概略營業品目

手袋類 タテ着下 襪物類	毛氈掛馬車 類	毛氈掛馬車 類	洋服附屬クツ 類	帽子類	卷紙封筒類	文房帳簿用紙 類	和洋帳簿用紙 類
--------------------	------------	------------	-------------	-----	-------	-------------	-------------

な引  札

池田長兵衛

電話二百〇六番

和洋
雜貨
卸小賣商

銀行、會社御用達
京成本町四丁目

京城南大門通一丁目
合名 開成社 支店

祝統監交迭更記

祝統監交迭紀念號發刊

京城永樂町二丁目

一進會本部

電話三一〇番

時節柄特に衛生に注意致し候間御愛飲
被下度候

高等牛乳

目項業營

家畜の飼養 蓄殖
 牛乳の搾取 販賣
 家畜及畜産物の買
 及委託 賣買
 バター及乳製品販賣
 此他畜産事業一切

韓國京城古市町九番戸
 韓國畜産株式會社

電話八八番

申込所

龍山元町三丁目 兼古商店

電話三九番

ミュンヘンビール



一名瓶詰にせる液體のパン

黒ビールに似て風味淡白アルコール分少なれば婦人
 にも飲み易く之を食前に用ひて消化を助け之を酒後に
 試みて心身を爽快ならしむ上戸下戸共に適する理想的
 好飲料なり

シトロ



シヤンパンに似てアルコール分を含まず
 サイダーよりも風味よく何人にも適する
 衛生的好飲料なり

醸造元 大日本麥酒株式會社



統監更迭記念號

屬所所判裁方地城京

第一組合辯護士會

(順はろい)

辰	高	大	岡	大	本	岩
市	橋	崎	田	久	田	田
本	章	熊	榮	保	潤	仙
丸	之助	之丞		雅彦		宗
事務所 自宅	京城鐘路通一丁目 電話二五六番	事務所 自宅	事務所 自宅	京城長谷川町一丁目 電話八三九番	京城中部長橋通一丁目 電話一九二番	京城明治町二丁目 電話三五四番

白	皆	木	永	中	莊	田
井	川	尾	井	村	子	中
勝	廣	虎	道	時	斌	圭
悟	濟	之助	忠	章		三
京城中部長通坊大廣橋十戶統 電話一四二一番	事務所 自宅	京城南部寫字洞三統八戶 電話三七五番	京城鐘路通一丁目 電話二三八番	京城旭町二丁目 電話六三一番	事務所 自宅	京城南部大坪坊 寫字洞三統三戶

第三

五、幼稚園

六、教育補助金

三十九年度に於て一萬五千圓を國庫より支出し在傳地留留民教職費補助金と對上せられた爾後毎年一萬圓乃至一萬五千圓宛増額せられたり各年度金額及頒給學校、次の如し

年度別	學校數	補助金額	一校平均
三十九年度	二六校	一五,000	五三三
四十年年度	二七校	一六,000	五三三
四十一年度	二八校	一七,000	五三三
四十二年度	二八校	一八,000	五三三
四十三年度	二九校	一九,000	五三三
計	一三三校	一三〇,000	四九七

七、學校經費

學校別	經費	生徒數	平均
小學校	二五七、五九六、八二二、四八一	一、二、三、四、五	二、三、四、五
(備考)校數十三校は經費不詳に付省す			

高等女學 三、七、六、三、三、八、二
 (備考) 仁川女學校職員の俸給は同上
 中學校 學校より支出す 一、五、一〇、七、〇、〇
 (備考) 京城居留民團の豫算を計上す

商業學校	一〇、三三一	九二、一一、
各種學校	—	—
專門學校	九、八六二	三〇、三九、七
幼稚園	五、五〇二	三八、一六、八

計 三三二、〇八三 九一三、四六三
八、圖書館九教育會
圖書は目下僅に左の三箇所に過ぎず

なり
木浦圖書館、釜山圖書館、京城文
九、教育會

京城仁川釜山元山木浦に各教育會を
し各其の地方學界に相當の功績を舉
つゝあり殊に京城教育會に於て毎年

催する夏期講習會は本年既に第四回
及び在韓小學校教員一般に對し多大
利益を與へたり

此の他在韓小學校長に於て校長會を
織し毎年一回京城に集會し教授管理
關する打合を爲し或は本府の路間に

○最初の居留民

京城に於ける我居留民の歴史は明治十七年の事變後開始せる、其以前に於ては公使館員及守備隊等政府の派遣せる者と、其が用達商の一時足を留めたる外は、時々仁川より我商賈の往來するのみ、而かも彼等の事變に支れて

我邦人の素性は甚だ危険なるを覺らしめたりと雖ども、同時に又危険の程度とも知らしむるの如く、薩摩の頭人は聞き疑怖したる虎の、即ち薩摩の頭人は其が一隅に會ふて反つて私かに微笑せし去れば變て我公使の再び駐劄せられたる頃より泥鰌の邊、我買人の店鋪を見るに至れり、之れは我最初の居留民なりとす。

○自治團の濫觴

明くれば十八年、我居留民の數は漸次

増加して十を以て數ふるに至れり、此に於て相讓して「總代」といふを設け、戸主たる者は男女を問はず月次輪番に

て之を移むることとせり、其の主たる事務は公使の布令を居留民に傳達し、又は入退京者の届書に実査して官に進

に十錢の分頭税を課して之れに充てなかり、税も無くして居留民の數激增し月り、税總代にては到底事務を處理し能はざる

るに至り^ヒ初めて専任總代を擧^キげし、月額五圓の手當を支給し其の住宅に於て事務を執らしめたり、是れを我京城自

治團の灌輸とす

○生活及社交の状態

當時居留民の生活は實に簡易を極め、生計の多くは勿論華人家庭にして

今の番町二丁目、現第一銀行敷地、番町一丁目及本町四丁目邊に散在せり、而して衣服は平常絹布を纏へる者な

絶てて無かりしといふ、茲に居留民が如何に質素なる生活を営みしかを徴すべき一笑話あり、小林徳兵衛と云ん

を承けて居留民に傳達すらく、来る三
長節の遙拜式に参列する者は、紋服

然るに居留民の大多數は禮服の準備
かりし爲め、我大君の聖節を奉祝
る皇子の心に二あるべうは無けれど

溪、渡邊鑑次郎、中村再造外

而して社交状態は、唯一家族の如くに
相輯睦せりと云はんのみ、例へば一家
族の如く、相倚り相扶けて一意専念地
盤の開拓に躍り、他を顧みるの遑なか
りしも、唯天長の佳節に方うては、老

弱男女打集よて熱誠に事祝したり、之れを機會として一年一回の社交的集會は催されたるが如し。

○民役所と會議所

十九年末、領事館事務代理久水三郎氏居留民規則を發布せしより、翌二十年一月民役所を設置したり、總代を發せし事を運りしこと、この如く、總代を發せしは居留民撰出の名譽職にして、任期を一年とし、戸主たる者は總て撰舉權を有す。

設し、各戸主は舉て其の職員となり、日韓貿易の先驅者たり指導者たるを期せり、時に居留民の數は尙二百に達せ

や、フロックコート乃至校服をだに有せざる當年の我居留民の意氣を見よ、去れども尙未だ家を建築するなどの

出來待べくもあらず、今の森町一丁料亭井門樓の地に在りたる韓人家屋の一部を賃借して商業會議所と共同使用

行敗は取扱はるゝのみならず、日韓和約

易に關せる諸種の畫策は議せらるゝなりけり。

超て二十二年の秋、八百余圓を投じて

現商業會議所の敷地に、民衆用及商業用
議所に充つべき家屋を建築せり、其が
二十八疊敷の一室は當時京城唯一の十
廣間にして、同時に京城唯一の公會堂

たり、會々此地に賓客を迎ふること
れば此の大廣間に小學校の机を配置
て立に京城唯一の大食堂となれりき

○民役所の經濟

員が初年に決議したる民役所の經費に二百余圓にして財源は分頭税とするものなりと、
(以下第四の一に續く)

西洋洗濯 伊丹屋 京城旭町二丁目 電話三七四番

城本町
龜屋

統監東送記念號

京城南大門外吉野町

韓國殖産

株式會社

電話七四番

京城南山町一丁目

御待合

入

船

電話一二三五番

京城本町二丁目



三井物産株式會社

京城出張所

電話

長二六番
七二四番
一一一九番

京城南大門外古市町

漢城共同倉庫株式會社

仁川海岸通り二丁目

仁川

出張所
(電話五四四番)

江景浦

江景

出張所
(電話一七番)

平澤前驛

平澤

出張所

藝妓置屋

京城南山町二丁目

清水席

電話九〇六番

京城新町遊廓

(順はろい)

井門 大 皆 第 第 高 南 京 月 清

一 一

門

樓支店

電話三五九番

櫛屋

電話六二二番

春樓

電話四二二番

樓本店

電話二一七番

樓支店

電話八三四番

島屋

電話二二七番

山屋

電話一三〇番

城樓

電話三七三番

下樓

電話二四五番

進樓

電話三一七番

月樓

電話二三三番

電話二三七番

統監更迭記念號

仁川港
慶田組
電話四二番

常滑土管
特約販賣
貿易商
仁川濱町二丁目
桑野商會
電話二三九番

仁川港
大阪商船株式會社
仁川支店
電話二一〇番

仁川旅館組合

停車場前(電二十四)	稻田旅館
理事廳前(電三十二)	原金旅館
萬石町(電五五二)	八景園ホテル
本町一丁目(大京旅館前)	花屋旅館
寺町二丁目(電八五七)	東郷旅館
民團役所前(電一四四)	尾崎旅館

公園地四ツ角(長七〇七)
仁川港海岸(電二五二)
停車場上(電四一四)

竹原旅館
旭屋旅館
菊屋旅館
白石旅館
木津旅館

日本居留地(電四十四)
(いりは順)

仁川通關業組合
仁川關稅所關稅人取扱
(順ハロイ)

仁川本町四丁目
仁川海岸町二丁目
仁川高杉町
仁川內國通運
仁川慶田組
仁川小宮山海陸運送店
仁川協同

仁川萬石町
仁川木材合資會社
同京城出張所

羅紗仁川
奧田
奧田
奧田
羅紗部
精米所
火藥部

仁川萬石町
仁川木材合資會社
同京城出張所

仁川港
仁川電氣株式會社
電話二二四番

仁川仲町三丁目
ライシングサン石油株式會社
仁川出張所
電話六三四番

仁川港本町四丁目
合資會社 秋田商會
電話長一七六



牛乳

平山牧場

京城大和町一丁目

電話 壹參參番

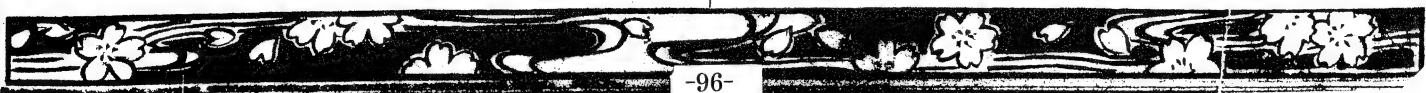


株式會社

三越呉服店出張所

京城本町二丁目

電話 三五二番



第四

(第三の一頁よりつづく)

記者は職守柄朝日に夕に東西南北縦横
無數に駈け歩るさつし其時往々に
看過せし事も、積ふは往々事なら
ざるもの亦夥しとせず、今之を記
しに迎へてのせんとする故、則ちい
つたづらと題せる所以なり
△人届に勤の字、郡縣にはたらくとい
ふ字は人届に勤く書き我國の創字に
て朝鮮には勿論支那にすら無き文字
なり、人届に勤くといふ意義は動物園
の虎が檻内に棲みかゝとして、喰ふて寝て
起して咆哮する如きに非ず、人の本分
を守り、生業に勵精するの謂なり、若
し支那人をして之を形象せしむれば、
勉強といふ文字を當て替ひべからざる
到底吾人が勤の字の力強きには如かざる
なり、是れ吾國の創設なる大け夫れ文
字意味深きと覺ゆ、而して差向く朝鮮
に此文字の普及を要すふ事、最とも所
要ならずや
△韓人へ禮を言ぬ、日本人には他人より
一顧の恩を享け、又は適食の饗應に
與れば、必ず後日若しくは再會の時
答禮の挨拶する慣習あり、然るに朝鮮
人へは決して此事なし、彼等之時を問
へば其時は其時、彼の時時は彼の時、焉
んぞ禮するを要せんやと曰ふ、此一事
小なりと雖も、先天的性を成し、遂に
世界唯一の忘恩國民と化し居る所以
ならざるなからんや、而して吾國の難
有ふ、若くは支那の多謝といふべき語
は朝鮮には是を有せずと聞く、強いて
之を索むればウマヅツなるが、其意
義大に異なるなりと其語通は證れり
△下僚の見たる下官、人は面の異なる
如く其性を異にし、下僚に受けの應
人必ずしも對等の上官に如くは如く
下僚に應かざれざる人に却て非凡の
上官あり、而して何んな上官が下僚
に好く下僚に惡しきかといふに頭腦明
晰斷斷流るるが如き人乎否、優柔不斷
何事も撓みしかる人乎否、剛者か
嚴に失し、後者は寛に徂れしむ、然ら
ば如何なる人乎、上に強く下に優く
尊ぶとして下僚を指導する人は是な
る、部下を露の如くべからず、則ち上官
更進するに必ず下僚に多少の異動を免
れざる所以なり（以下第五の一へ通）

末には百九十餘名、二十四年末に
百餘名、二十七年六月には八百六
十餘名にして日清戰役中俄かに激増して
人を算せしも戦後復た減じて一千
餘となれり、爾後發戍の狀は人の
に新たなる處、以へに畧す。

いたづら

bioRxiv preprint doi: <https://doi.org/10.1101/201705>; this version posted May 10, 2017. The copyright holder for this preprint (which was not certified by peer review) is the author/funder, who has granted bioRxiv a license to display the preprint in perpetuity. It is made available under aCC-BY-NC-ND 4.0 International license.

田商店

陶器部(電話四百十九番)
實部(同 一五五三番)
(辰香口壺一六五)

諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百十番

林田交換所

米穀
商
池田長次郎

取締役社長	和山	古中	同	同	監查役	同	同
專務取締役	田口	城太					
取締役	常市	菅堂	村再	關繁	松尾福次郎	梶原末太郎	秋吉富太郎

諸官衙御用達
土木建築請負
材木販賣
電氣器具一式

城本町五丁目
煙上支店

山本村太郎



京城南山町四丁目

花月

電話

五七番
一一六四番

京城南山町三丁目

探翠樓

電話

長三三〇番
三三〇番

京城永樂町三丁目

清華亭

電話長二五番



第五

京城南山町二丁目
曾我勉
長電話二八番

立金三萬圓
 光武十年創立
 漢城手形組合
 理事 豐田 明 敬
 主任 青野 鐵 彦
 同水原支所 (電話水原九番)

●特約新聞一覽表●

[illegible]

京城大濠門前
盛文堂
(電話四二六)
南山櫻田町(新市街)
盛文堂出張所

陸軍衛戍病院
大韓醫院
純毒全乳
洋種飼育
設備完全
特定御用

荒井牧場

京城松函石油組合

和田	常市	福田	台三
梶原未太郎	佐藤磯治郎		
梶原 菊藏	三浦茂三郎		
中村 再造	廣地久太郎		
小野 保一	森 久兵衛		
釘本藤次郎	關 繁太郎		
前田 熊市	勢一 助市		
古迫角次郎	上野政次郎		
藤富國太郎			

城 京
行 銀 工 農 湖 漢 會 株 式 社

◀電話五二四番▶

同 春川支店
同 太田支店
同 江景支店
同 開城支店
同 公州出張所
同 忠州出張所
同 清州出張所

統監更迭記念號

京城酒商組合 (いろは順)
本莊支店 京城本町三丁目 電話六五四番
千歳京城支店 同 三六〇番
大塚京城支店 同 四〇一番
田中支店 同 七六四番
村田源次郎本店 同 三三三番
富の壽支店 同 一〇三九番
山邑京城支店 同 八四九番
前田酒店 同 一一七番
松屋商店 同 一一四〇番
佐藤牧商店 同 二九番
三巴商會 同 七五二番
帝國一支店 同 一〇三五番
平田支店 同 六七九番
清力京城支店 同 一一六番
首藤京城支店 同 一一七一番

吳服商組合

(いろは順)
林吳服店 京城本町四丁目 電話六五二番
山口吳服店 同 九番
山枝吳服店 同 二四番
圓城吳服店 同 一五七番
惠阪吳服店 同 七二六番
末永吳服店 同 六八二番

數蕎麥

支店 京城南山町四丁目 電話九一二番
本店 京城本町六丁目 電話八四七番

犬馬療治所

(入院隨意)
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院主 小川龜太郎
電話四二七番

南大門外 中の新地料理店 吉野町

(いろは順)
井筒 電話七四五番
れ多福樓 電話七四五番
開盛樓 電話一三三七番
玉の江
浪花樓 電話一〇七番
梅の家 電話一四四九番
山海樓
綠 月 電話一五四六番
笑 支店 電話九三三番
日の出樓

和洋紙 和洋諸帳簿 文房具商 人名簿製造 活版印刷 和洋製本

北内淺吉

支店 本町五丁目廿一番戸 (電話千三百三番)
本町五丁目 活版印刷部

精巧にして迅速
印章ゴム印彫刻
京畿明治町一丁目七十九番戸
金石山房 最上梧堂

流齋 割烹 津 祿
町 山 南
番 二 〇 百 五 千 話 電

太平町長谷川町料理店

いろは亭 永樂亭 一樂亭 奧州屋 かし水亭 玉葉亭 若砂亭 高平樓 太る家 月良の 奈州 九州 壽花亭 東屋 新枝玉 菊竹 松廣 末雷 末吉



株式會社

第一銀行京城支店

京城南山町

電話 六一一
長一 番



韓國銀行



株式會社

百二十銀行韓國總支店

京城本町二丁目

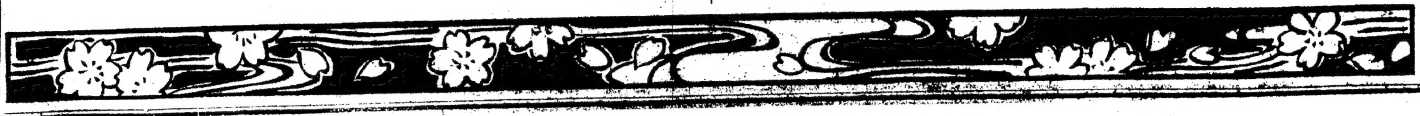
電話 五八番



十八銀行京城支店

京城黃金町

電話 五百八十番
四百二十番



統監更迭記念號

草煙製官本日

不二 山數 櫻島	新製品 ハチー 朝日 ビ	ウ エ ル ス 大和	優良 トル コ 葉 製 マ
----------------	-----------------------	------------------------	------------------------------

社會草煙亞東

京城壽町二丁目

食道樂

電話九百四十四番

京城明治町三丁目

日韓印刷株式會社

電話三二三番

京城明治町二丁目

原田合名會社

電話二三〇番